

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 平成18年～			
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	01 やさしさあふれるまちづくり
	小項目	施策	01 子育て支援
事務事業名			15 子育て家庭応援カード交付事業
			問 担当課(室) ことども課
			問 職・氏名 子育て支援係長 岡本洋子
			問 電話 0869-64-1853
根拠法令・規程等 岡山県			

事業の実施	
対 象 (誰・何に対して)	妊娠中の方小学校6学年までの児童を持つ家庭(岡山県在住の方)
目 的 (何のために)	子育て家庭に交付された「ももっこカード」を架け橋に協賛店舗等が独自の子育て支援サービスを提供することで、子育てを温かく応援する地域づくりを推進する。
行政活動 (どのような方法で)	岡山県が実施する協賛する企業が提供するサービスが受けられる子育て家庭応援カードを交付する。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	小児化が進行する中、社会全体で地域が一体となって子育て家庭を支援し、子育てしやすい環境づくりを促進できる。

事業の実績						
活動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	
	新規カード交付数	枚	951	185	586	
実績	直接事業費	千円	0.20人	1,235	0.02人	75
	必要人員	人	1,235	75	152	
業績	事業費	千円	1,235	75	152	
	国 県 支 出 金	千円				
	受 益 者 負 担 金					
	総 入 金					
	市 債					
そ の 他 ()						
一 般 財 源		1,235	75	152		
受 益 者 負 担 比 率	%					

結果指標①					
結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	説明
カード交付枚数	枚	951	185	586	
対前年対比	%	-	19.5%	316.8%	
活動コスト	円	1,235,000	75,000	152,000	
単位当たりコスト	円	1,299	405	259	
結果指標②					
結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	説明
カード交付枚数	枚	951	185	586	
対前年対比	%	-	19.5%	316.8%	
活動コスト	円	1,235,000	75,000	152,000	
単位当たりコスト	円	1,299	405	259	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
カード交付枚数	目標値(A)	1,100	1,100	1,100	1,000枚
	実績値(B)	951	185	586	到達目標年度
	達成率(B/A)	86.4	16.8	53.2	21年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
カード交付枚数(H21年2月更新により、保育園園児483件と未就園児103件に交付した)					

事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	判定理由・課題認識 岡山県が企業や市町村との連携・協働により子育て応援カード事業は、社会全体で子ども達の成長や子育てを応援していく意識の高まりに繋がり、本市においても子育て支援に繋がることから実施すべき事業である。
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> C 判定理由・課題認識 保育園・幼稚園・小学校等と連携を図りながらカードの交付を促進する。
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E> B 判定理由・課題認識 市の広報誌等で周知している。今後は、HP等活用しながら、カードのメリットをお知らせし交付を促進する。

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	586	結果指標量②	1,000	成果指標量	1,000
状況	拡充		現状継続	○	縮小	
	見直し				整理統合	
説明	休止		廃止・完了			
	前年度と同様継続して実施していく。					

総合評価		評価区分<A~E>
子どもを生み育てやすい環境づくりに繋がる事業であり、広くカードが行き渡るよう対象者に周知する必要がある。		B

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	事業の性質から継続していく必要がある。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		
効率性	広報紙の活用や対象者が集まる機会を利用して周知に努める必要がある。	毎年	カード交付世帯の増加			